

第3章 文化振興の基本的な考え方

1. 基本理念

筑紫野市の地勢は、その中央に幅 1 kmほどの細長い平野が南北に延びています。その東には周防灘沿岸から続く山塊が、また西には五島灘沿岸から続く山々が迫ります。

この山々に挟まれた細長い平野こそが九州北部沿岸部と九州内陸部を結ぶ唯一の平坦な路として、本市の歴史や文化を特色づけるものとなりました。

黒潮の文化、大陸や朝鮮半島の文化、また京や江戸の文化など、いにしえより常に最新の文化の風が吹き渡っている「ちくしの」。

私たちの先達は、さまざまな文化の風を受け入れながら、自らも独自の風を巻き起こしてきました。

現代に生きる私たちも、本市の豊かな風土や伝統文化を大切に、市民一人ひとりが日々の生活のなかで文化に親しみながら豊かな感性を育み、また自らのさまざまな活動や交流を通して筑紫野らしい文化を創造し、絶えることのない文化の風を起こしていくことをめざします。

キャッチフレーズ

文化の風が吹くまち ちくしの

2. 基本目標

基本理念を実現するため、次の3つの基本目標を大きな柱に据えて、文化振興に取り組んでいきます。

1. 文化を通じたひとづくり

あらゆる人々が、さまざまな文化の鑑賞や新しい文化の創造を楽しむことができ、文化を通じた交流や文化活動に主体的に参加できる環境づくりを進めます。特に、これからの文化を担う子どもたちが、文化に親しむことを促進します。

2. 文化を活かしたまちづくり

地域文化を育み、交流を深めながら、コミュニティの輪を広げます。

また、潤いと魅力のあるまちの発展をめざすため、地域の特性や文化資源を活かし、社会の各分野と連携しながら、まちのにぎわいと交流の促進をはかっていきます。

3. 文化を広げるしくみづくり

文化の豊かな広がりをめざすため、行政の文化化*を推進し、市民との協働を積極的に進めながら、文化振興の新たなしくみづくりに取り組んでいきます。

また、文化を享受し、文化的な交流を広げるため、文化情報を積極的に収集、発信していきます。